

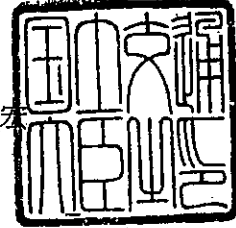


# 認 定 書

国住指第 439 号  
平成 23 年 7 月 21 日

一般社団法人日本ガス協会  
会長 鳥原 光憲 様  
社団法人日本エルピーガス供給機器工業会  
会長 矢崎 裕彦 様

国土交通大臣 大島 章宏



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 26 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 5 第 1 項第七号ハ [防火区画貫通部 1 時間遮炎性能] の規定に適合するものであることを認める。

## 記

1. 認定番号  
PS060WL-0547
2. 認定をした構造方法等の名称  
軟質塩化ビニルライニングステンレス鋼フレキシブル管/セメントモルタル充てん/壁耐火構造/貫通部分(中空壁を除く)
3. 認定をした構造方法等の内容  
別添のとおり

(注意) この認定書は、大切に保存しておいてください。

## 1. 構造名：

軟質塩化ビニルライニングステンレス鋼フレキシブル管／セメントモルタル充てん／壁耐火構造  
／貫通部分(中空壁を除く)

## 2. 申請仕様の寸法等：

申請仕様の寸法等を表1に示す。

表1 申請仕様の寸法等

項 目		申 請 仕 様
開 口 部	形状	円形(φ60mm以下)
	面積	0.00283m <sup>2</sup> 以下
占 積 率 (開口面積に対する管の断面積総合計の割合)		45.2%以下
貫通する壁の構造等		A L Cパネル又は鉄筋コンクリート造 厚さ 75mm以上

## 3. 申請仕様の構成材料：

申請仕様の構成材料を表2及び配管を表3に示す。

表2 申請仕様の構成材料

項 目	申 請 仕 様	
充てん材	材料	セメントモルタル
	組成 (質量%)	普通ポルトランドセメント 25 砂 75
	充てん量	隙間がないよう密に充てんする

表3 配管の構成材料

項 目		申 請 仕 様	
配管		材料	軟質塩化ビニルライニングステンレス鋼フレキシブル管
		外径	13.0~40.3mm
	被覆材	材料	軟質ポリ塩化ビニルコンパウンド(JIS K 6723、第1種第2号)
		厚さ	0.75mm以下
	鋼管	材料	冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯(JIS G 4305)
		呼び径	8A~32A
		外径	11.5~38.8mm
		厚さ	0.20、0.25mm

## 4. 申請仕様の構造説明図：

申請仕様の構造説明図を図1及び図2に示す。

単位 mm

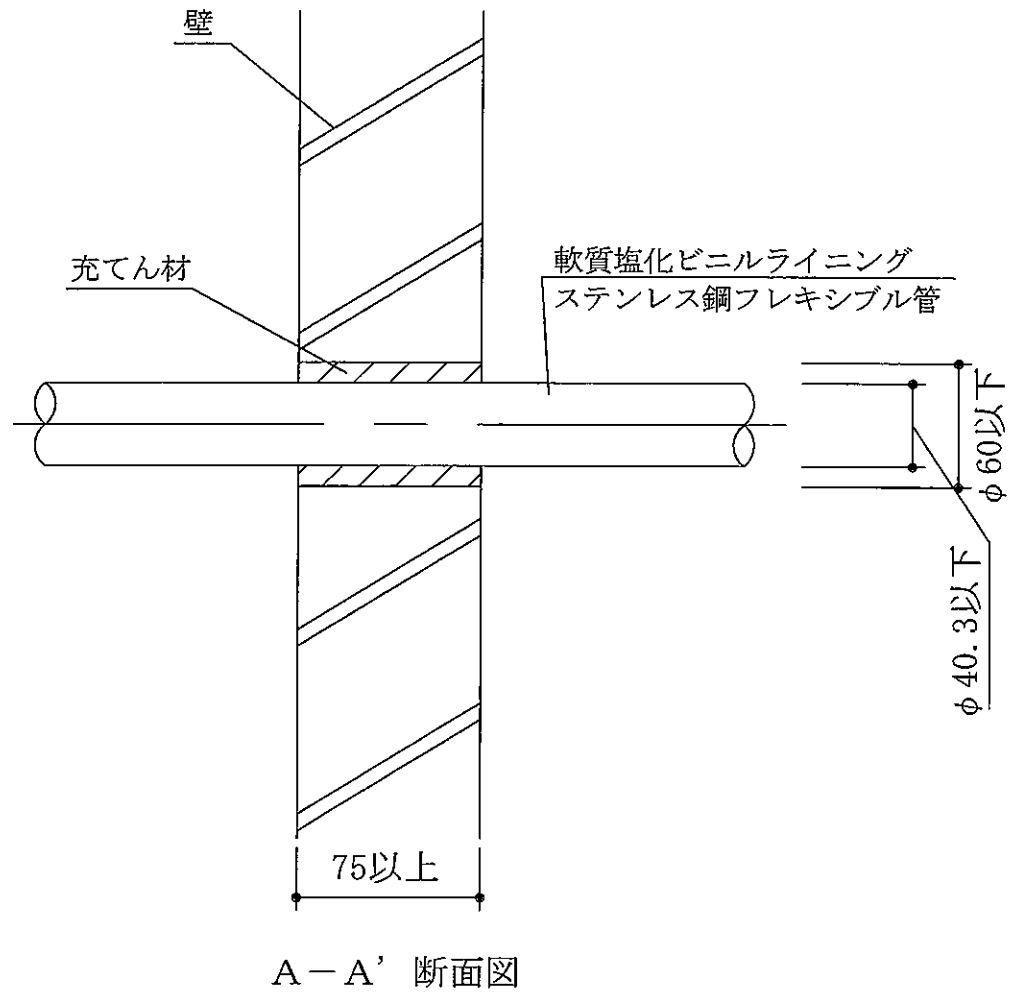
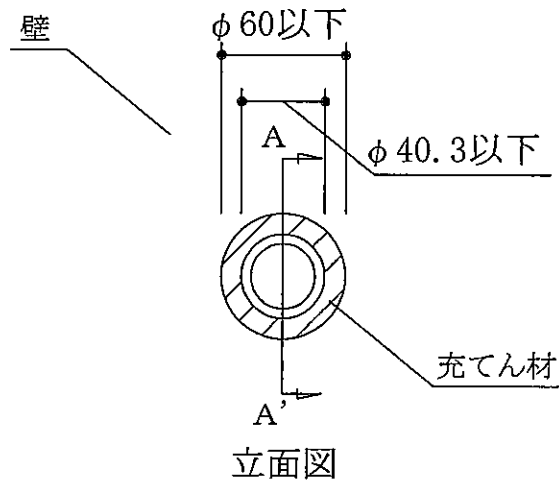
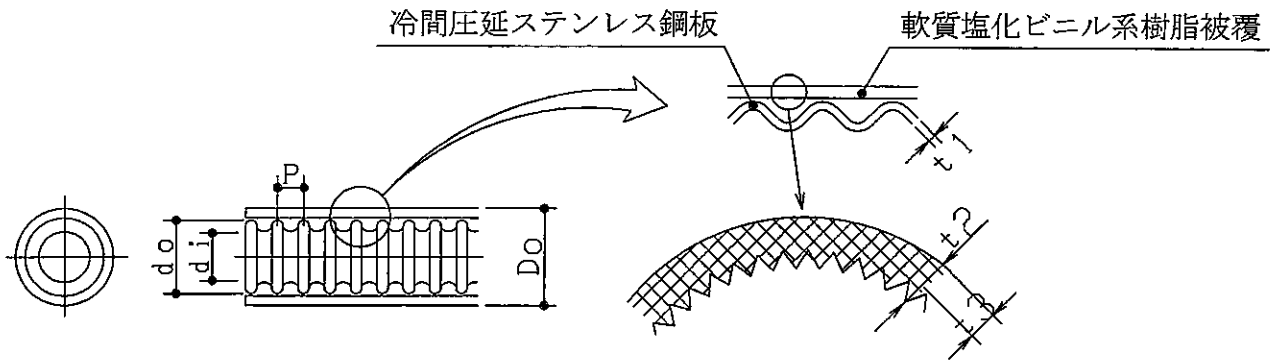


図1 構造説明図

単位 mm



詳細図

※軟質塩化ビニルライニングステンレス鋼フレキシブル管の詳細

呼び径 (A)	鋼管の厚さ $t_1=0.25$						鋼管の厚さ $t_1=0.20$					
	鋼管			被覆材			鋼管			被覆材		
	内径 $d_i$	外径 $d_o$	ピッチ $P$	厚さ $t_2$	厚さ $t_3$	外径 $D_o$	内径 $d_i$	外径 $d_o$	ピッチ $P$	厚さ $t_2$	厚さ $t_3$	外径 $D_o$
8	—	—	—	—	—	—	8.9	11.5	3.3	0.75	0.6	13.0
10	—	—	—	—	—	—	11.5	14.2	3.4	0.75	0.6	15.7
15	—	—	—	—	—	—	15.0	18.4	3.8	0.75	0.6	19.9
20	—	—	—	—	—	—	20.8	24.2	4.2	0.75	0.6	25.7
25	25.0	30.8	6.0	0.75	0.6	32.3	—	—	—	—	—	—
32	32.0	38.8	7.0	0.75	0.6	40.3	—	—	—	—	—	—

図2 構造説明図

5. 施工方法：

施工図を図3に示す。

施工は以下の手順で行う。

(1) 開口部の確認

開口部の開口面積、配管の寸法、占積率、壁厚等が申請仕様に適合していることを確認する。

(2) 配管の設置

配管を貫通部に通して支持する。

(3) 開口部の前処理

開口部の周囲は、充填材の処置の前に水で湿らせる。

(4) 充填材の処置

片側から充填材を開口部に充填した後、反対側からも充填材を充填し、隙間が生じないように密に充填する。

単位 mm

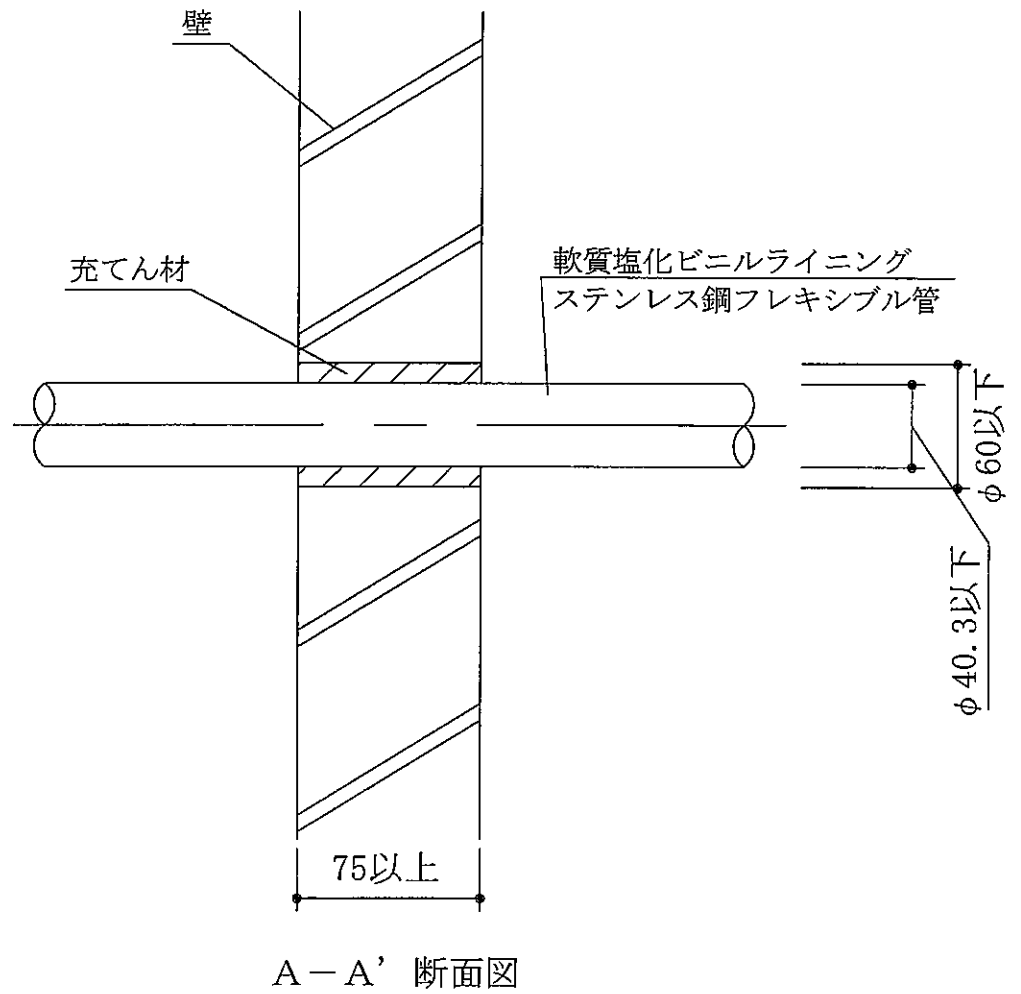
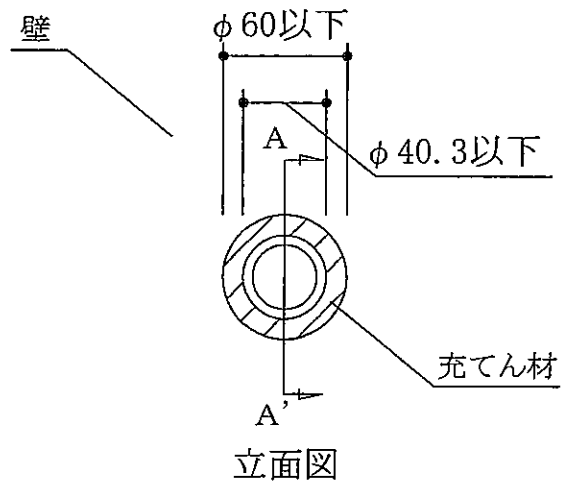


図3 施工図